

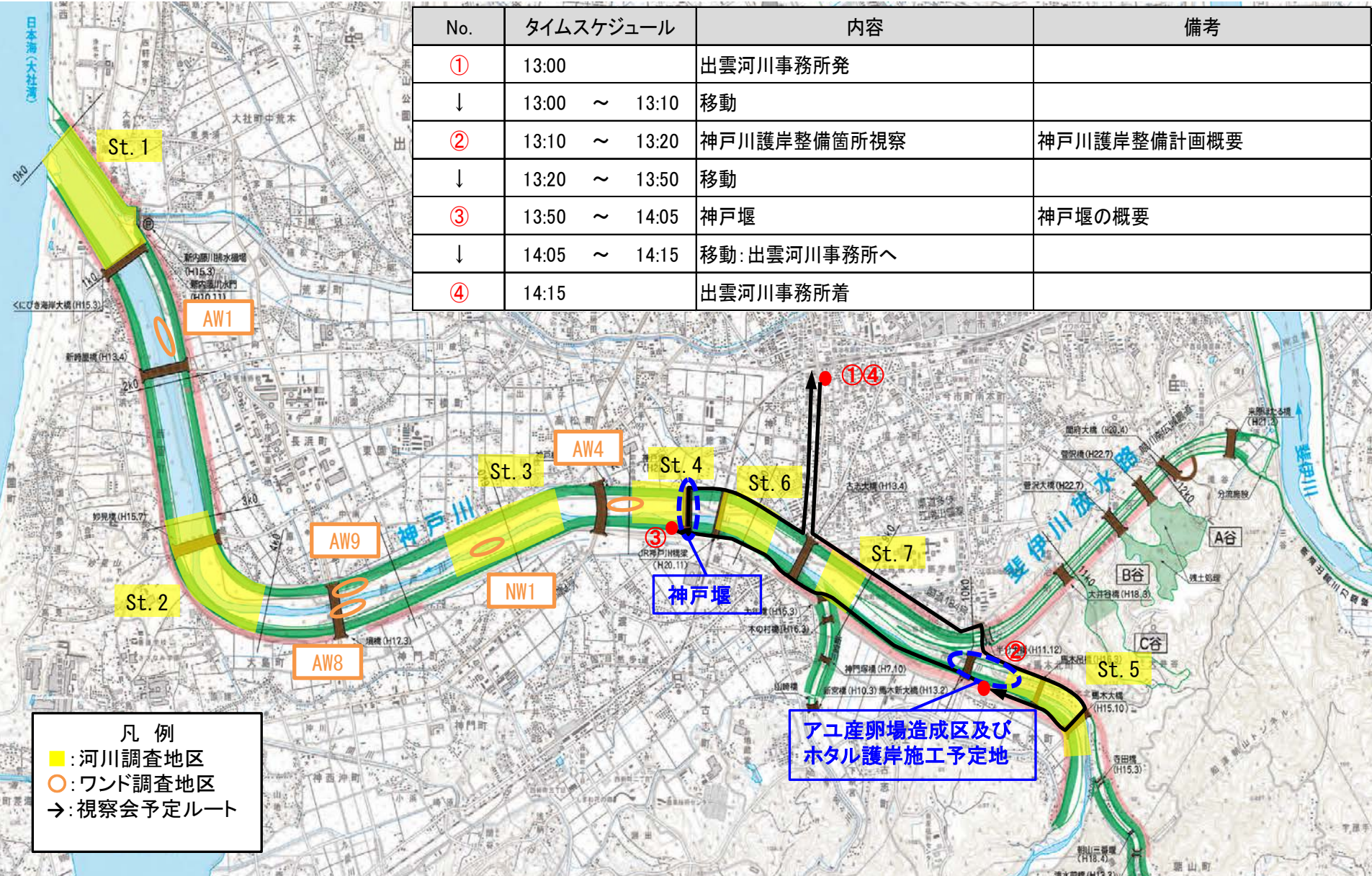
第2回 斐伊川放水路環境モニタリング協議会

# 現 地 視 察 資 料

平成28年1月13日

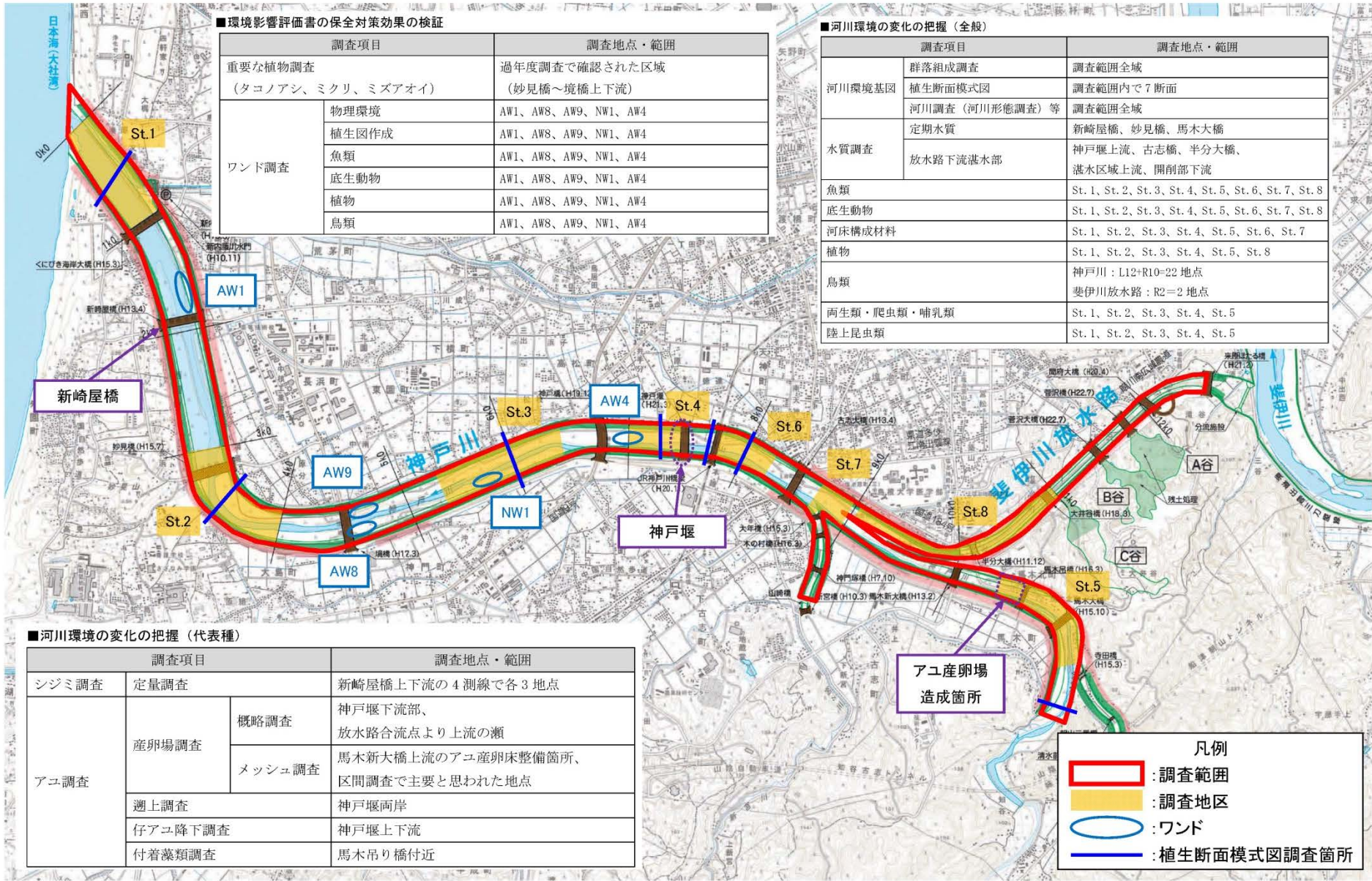
# 斐伊川放水路環境モニタリング 現地視察スケジュール

No.	タイムスケジュール	内容	備考
①	13:00	出雲河川事務所発	
↓	13:00 ~ 13:10	移動	
②	13:10 ~ 13:20	神戸川護岸整備箇所視察	神戸川護岸整備計画概要
↓	13:20 ~ 13:50	移動	
③	13:50 ~ 14:05	神戸堰	神戸堰の概要
↓	14:05 ~ 14:15	移動: 出雲河川事務所へ	
④	14:15	出雲河川事務所着	



※タイムスケジュールは当日の状況により、前後する恐れがあります。

# 斐伊川放水路環境モニタリング 調査地点位置図



### ■環境影響評価書の保全対策効果の検証

調査項目		調査地点・範囲
重要な植物調査 (タコノアシ、ミクリ、ミズアオイ)		過年度調査で確認された区域 (妙見橋〜境橋上下流)
ワンド調査	物理環境	AW1、AWS、AW9、NW1、AW4
	植生図作成	AW1、AWS、AW9、NW1、AW4
	魚類	AW1、AWS、AW9、NW1、AW4
	底生動物	AW1、AWS、AW9、NW1、AW4
	植物	AW1、AWS、AW9、NW1、AW4
	鳥類	AW1、AWS、AW9、NW1、AW4

### ■河川環境の変化の把握 (全般)

調査項目		調査地点・範囲
河川環境基因	群落組成調査	調査範囲全域
	植生断面模式図	調査範囲内で7断面
河川調査 (河川形態調査) 等		調査範囲全域
水質調査	定期水質	新崎屋橋、妙見橋、馬木大橋
	放水路下流湛水部	神戸堰上流、古志橋、半分大橋、 湛水区域上流、開削部下流
魚類		St.1、St.2、St.3、St.4、St.5、St.6、St.7、St.8
底生動物		St.1、St.2、St.3、St.4、St.5、St.6、St.7、St.8
河床構成材料		St.1、St.2、St.3、St.4、St.5、St.6、St.7
植物		St.1、St.2、St.3、St.4、St.5、St.8
鳥類		神戸川：L12-R10-22地点 斐伊川放水路：R2-2地点
両生類・爬虫類・哺乳類		St.1、St.2、St.3、St.4、St.5
陸上昆虫類		St.1、St.2、St.3、St.4、St.5

### ■河川環境の変化の把握 (代表種)

調査項目		調査地点・範囲	
シジミ調査	定量調査	新崎屋橋上下流の4測線で各3地点	
アユ調査	産卵場調査	概略調査	神戸堰下流部、 放水路合流点より上流の瀬
		メッシュ調査	馬木新大橋上流のアユ産卵床整備箇所、 区間調査で主要と思われた地点
	遡上調査	神戸堰両岸	
	仔アユ降下調査	神戸堰上下流	
	付着藻類調査	馬木吊り橋付近	

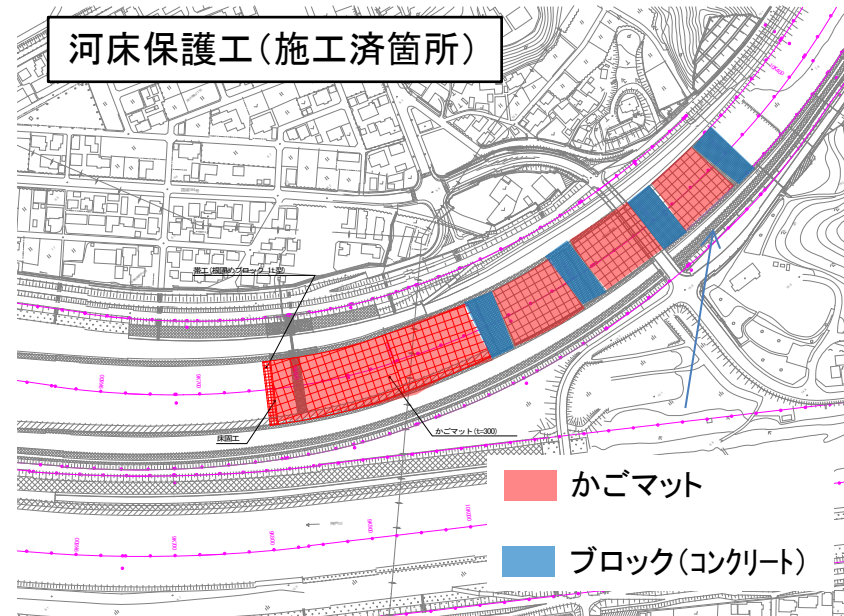
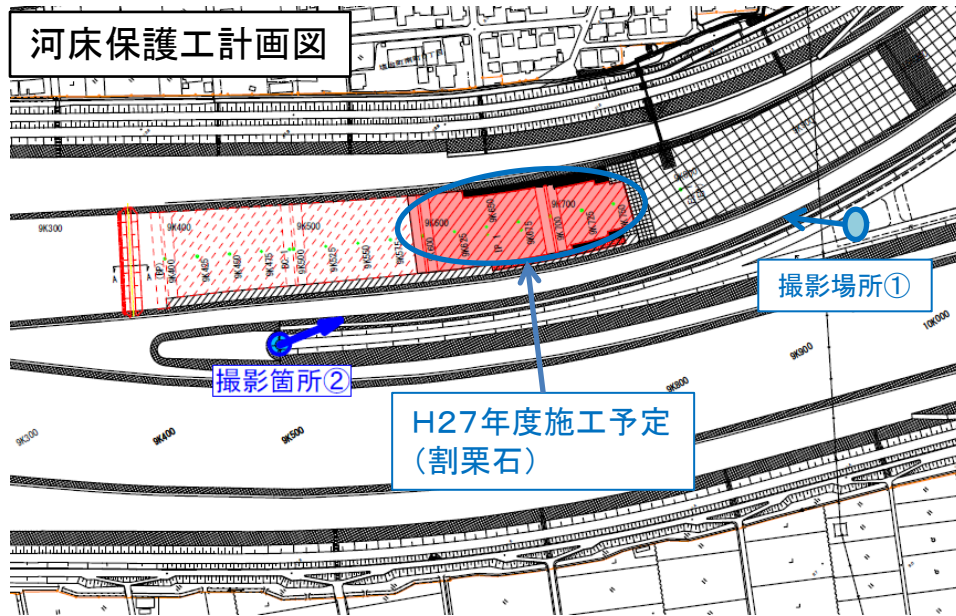
凡例

- : 調査範囲
- : 調査地区
- : ワンド
- : 植生断面模式図調査箇所

# 合流部の状況



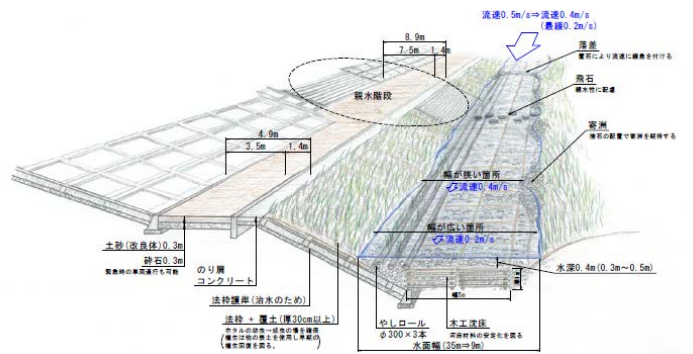
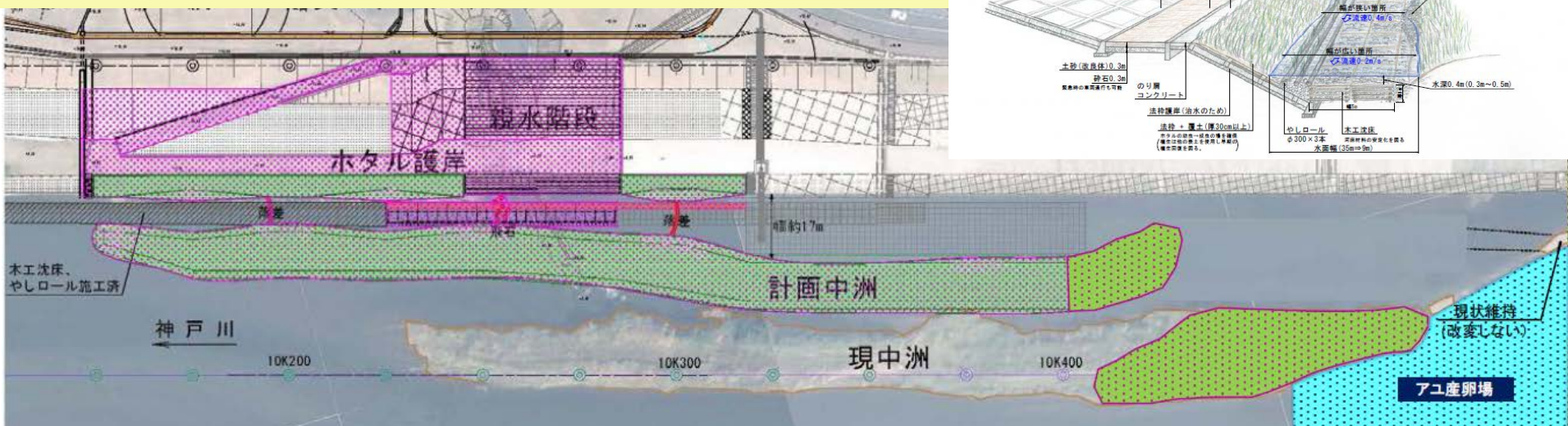
# 合流部箇所保護工の状況



# 神戸川における護岸整備について

## 整備イメージ図

(※この図面は関係機関等と調整中のものであり、今後変更となることがあります。)



神戸堰周辺の状況



平成27年5月

# 神戸堰の概要

●工事経緯／平成 16年 8月～平成 18年12月 堰本体工事  
平成 17年10月～平成 20年 3月 管理橋工事  
平成 18年 3月～平成 21年 3月 取付道路工事

／平成 18年 3月～平成 20年 3月 ゲート工事  
／平成 19年 7月～平成 20年 3月 管理棟工事

着手時



堰本体工事【1期施工】完成



堰本体工事【2期施工】完成



上部工完成





### アーチの景観の再現

・拡幅, 可動化改築する神戸堰にアーチを再現

- 拡幅, 可動化による治水機能の向上
- 地域の景観の再生・継承

旧神戸堰



旧堰のアーチ型の越流部

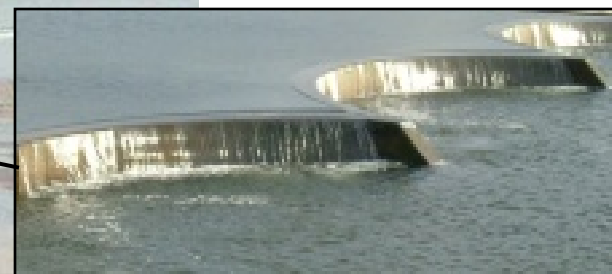


旧堰の一部は公園に保存

改築した神戸堰



← アーチのイメージの  
変断面形式PC橋による  
管理橋



← 下流水叩の落差を利用してアーチを再現

# 神戸堰の概要

## 魚類の移動に配慮

- ・堰両岸には、多様な魚類や底生動物が移動可能なように3種類の魚道を組み合わせて設置。



右岸側魚道



斜隔壁式

斜路式



左岸側魚道



斜路式

アイスハーバー式

平成25年のサケの遡上調査で約200匹の遡上を確認  
アユなども多数の遡上が確認されている